



## 令和3年度県民経済計算について

県内及び県民の経済活動によって新たに生み出された付加価値を「生産」「分配」「支出」の三面から把握した「令和3年度とちぎの県民経済計算」の概要を公表しましたのでお知らせします。

- 県内総生産（名目）：9兆1,791億円（令和2年度：8兆9,265億円）
- 経済成長率（名目）：2.8%（令和2年度：▲4.2%）
- 経済成長率（実質）：3.5%（令和2年度：▲5.1%）（実質=物価変動の影響を除いた値）
- 県内総生産に占める第2次産業の割合：44.3%（令和2年度：43.7%）
- 県内総生産に占める製造業の割合：39.6%（令和2年度：38.7%）
- 1人当たり県民所得：3,307千円（令和2年度：3,132千円）  
（雇用者の賃金等の雇用者報酬、家計の利子等の財産所得、企業所得の合計である県民所得を令和3年10月1日現在の総人口で割ったもの）

※県民経済計算は、過去に公表した数値も遡及して再推計を行いますので、令和2年度以前の数値は、過去に公表したのものと変更が生じています。

図1 県内総生産（名目）の推移

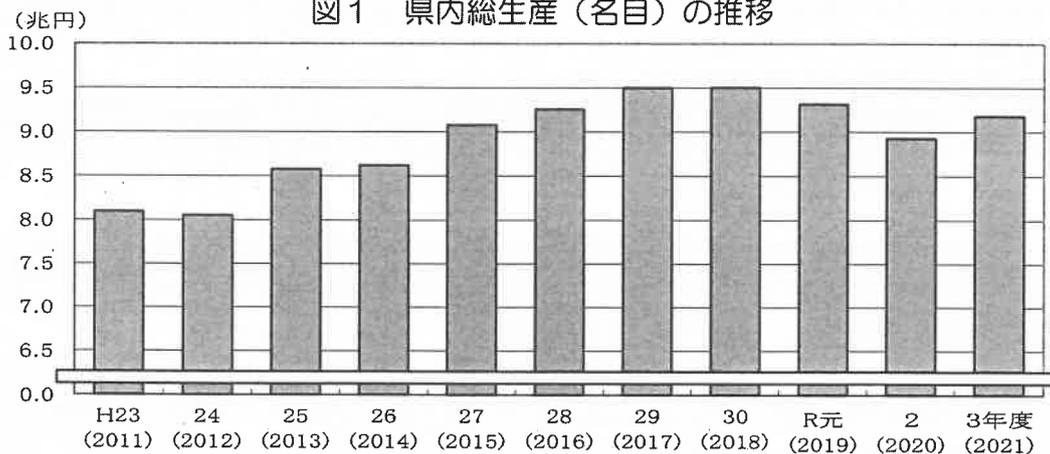
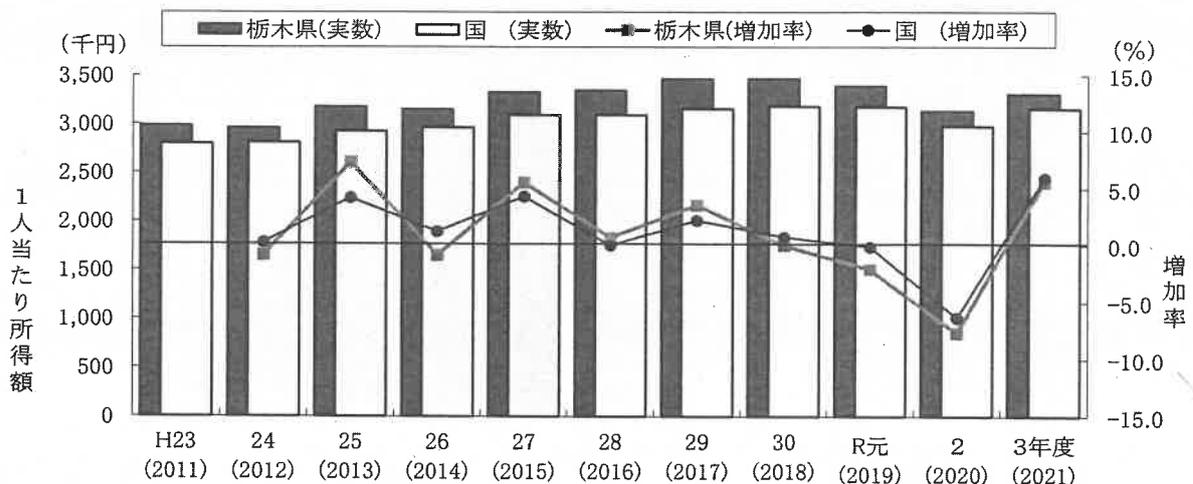


図2 1人当たり県（国）民所得の推移



# 「令和6年全国家計構造調査」にご協力をお願いします

令和6年10月～11月の2か月間、全国家計構造調査を実施します。

## 調査の目的は？

家計における消費、所得、資産及び負債の実態を総合的に把握し、世帯の所得分布及び消費の水準、構造等を全国的及び地域別に明らかにする調査です。

この調査は、統計法に基づき国が実施する重要な統計調査です。

1959年以来5年ごとに実施され、令和6年調査で14回目となります。

## 調査の対象は？

全国から無作為に抽出した約90,000世帯を対象とします。

栃木県では、県内全ての市と芳賀町、壬生町、高根沢町の3町から抽出した約1,300世帯を対象として市町村調査が行われます。

また、宇都宮市、小山市、野木町では、実施中の家計調査対象世帯を対象に、家計調査と一体的に都道府県調査が行われます。

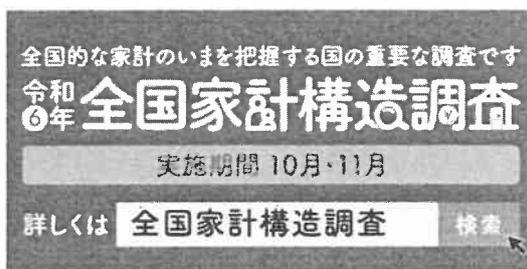
## 対象となったら？

調査対象となった世帯の方に、調査員が調査書類を配布しますのでご回答よろしくお願いいたします。回答方法は、インターネット又は調査員による回収となります(※一部郵送回答も可能)。

なお、事前調査として、8月頃より対象地域に調査員が訪問します。ご協力よろしくお願いいたします。

## どんな事を調べるの？

- (1) 世帯及び世帯員に関すること  
世帯構成、世帯員の就業・教育状況、現住居の状況、現住居以外の住宅・宅地の保有状況 など
- (2) 家計収支に関すること  
自動引落としによる支払、口座等への入金(給与・年金等)、日々の収入と支出 など
- (3) 所得及び家計資産・負債に関すること  
年間収入、預貯金などの金融資産、借入金 など



あなたの回答で、見えてくる明日。 総務省統計局

調査結果は、国や地方公共団体において、重要な政策に利用されます。



## 2019年全国家計構造調査結果より

### 栃木県及び全国

#### 費目別消費支出と内訳(二人以上世帯)▶

全国家計構造調査 家計収支に関する結果  
1世帯当たり1か月間の収入と支出(二人以上世帯の平均)

栃木県の1世帯当たりの1か月間の平均消費支出は、244,209円で、2014年調査に比べ22,023円の減少、全国平均(237,091円)を7,118円上回りました。

消費支出に占める費目別の内訳については、「食料」が64,238円で最も多く、以下交際費などの「その他の消費支出」が43,871円、「交通・通信」が41,172円の順となりました。



令和6年調査結果は、令和7年12月頃から順次公表予定です。

項目	栃木県			全国		
	2014年 実数	2019年 実数	対前回 増減率 (%)	2014年 実数	2019年 実数	対前回 増減率 (%)
世帯主平均年齢(歳)	55.8	56.2	—	55.7	56.6	—
平均世帯人員(人)	2.56	2.45	—	2.39	2.28	—
消費支出(円)	266,232	244,209	▲ 8.3	249,738	237,091	▲ 5.1
食料	63,353	64,238	▲ 1.4	63,815	63,756	▲ 0.1
住居	21,774	15,248	▲ 30.0	20,871	22,523	▲ 7.9
光熱・水道	19,069	18,439	▲ 3.3	17,524	16,837	▲ 3.9
家具・家事用品	10,364	8,181	▲ 21.1	8,709	8,073	▲ 7.3
被服及び履物	10,552	11,137	▲ 5.5	11,451	9,279	▲ 19.0
保健医療	11,843	11,108	▲ 6.2	10,837	11,648	▲ 7.5
交通・通信	49,399	41,172	▲ 16.7	37,452	33,954	▲ 9.3
教育	6,263	6,075	▲ 3.0	7,972	7,279	▲ 8.7
教養娯楽	27,308	24,740	▲ 9.4	26,647	24,282	▲ 8.9
その他の消費支出	46,307	43,871	▲ 5.3	44,461	39,460	▲ 11.2

# 受賞おめでとうございます

～令和6年春の叙勲・県民の日表彰～

## ～令和6年春の叙勲～

(令和6年4月29日 発令)



○叙勲（瑞宝単光章）

廣木 陽子（宇都宮市） 元 各種統計調査員  
（敬称略）



叙勲とは、国家や公共のために功労のあった方などを国として表彰するものです。



## ～令和6年県民の日表彰～

(令和6年6月15日 発令)



蘆原 美穂子（佐野市） 現 統計調査員  
半田 コウ（宇都宮市） 現 統計調査員  
松尾 京子（真岡市） 現 統計調査員

（敬称略）

県民の日表彰とは、6月15日の「栃木県民の日」に、地方自治、県民生活、教育・文化などの様々な分野において、顕著な功績を挙げられた方を知事が表彰するものです。

## 「統計の日（10月18日）」の標語決定！

総務省では、「統計の日（10月18日）」の周知を図るため、毎年標語を募集しています。このたび、9,980点の応募の中から令和6年度の特選作品が決定しました。

『 今を知り 未来つくろう 統計パワー 』

福島県いわき市立赤井小学校6年 矢野 武

たくさんの御応募ありがとうございました。

# 労働力調査 令和5(2023)年平均結果について

総務省統計局から「労働力調査 令和5(2023)年平均結果」が公表されましたので、その概要についてお知らせします。

完全失業率

令和5(2023)年平均 2.6% (前年と同率)

完全失業者数

令和5(2023)年平均 178万人 (前年比 1万人の減少)

### ○主な求職理由別対前年度増減

1 仕事をやめたため求職	118万人 (同 数)
非自発的な離職	43万人 (3万人減)
定年又は雇用契約の満了による離職	18万人 (同 数)
勤め先や事業の都合による離職	25万人 (4万人減)
自発的な離職 (自己都合)	75万人 (3万人増)
2 新たに求職	47万人 (同 数)
学卒未就職	7万人 (同 数)
収入を得る必要が生じた	25万人 (1万人増)
その他	15万人 (同 数)

就業者

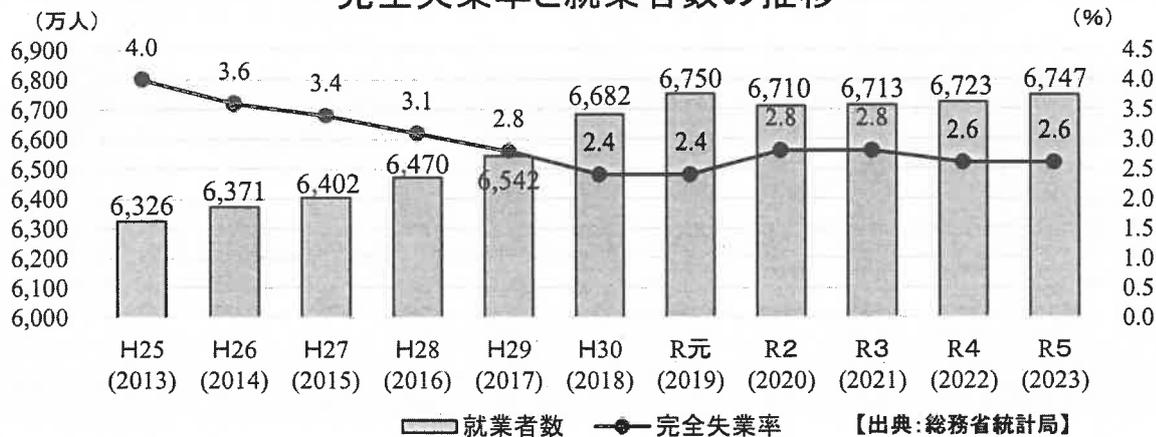
2023年平均 6,747万人 (前年比 24万人の増加)

### ○主な産業別対前年度増減

農業、林業	187万人 (5万人減)
建設業	483万人 (4万人増)
製造業	1,055万人 (11万人増)
卸売業、小売業	1,041万人 (3万人減)
医療、福祉	910万人 (2万人増)
サービス業 (他に分類されないもの)	458万人 (5万人減)



## 完全失業率と就業者数の推移



最新の統計情報は  
インターネットで！！

各種調査結果速報の詳細は、統計課ホームページでご覧になることができます。  
今後もより使いやすいホームページを目指しますので、ぜひご意見をお寄せください。

### ★★ 編集後記 ★★

酷暑の中での調査活動となりますので、十分な水分・塩分補給、適宜の休憩による熱中症予防にご留意ください。

栃木県生活文化スポーツ部統計課

〒320-8501

栃木県宇都宮市塙田1-1-20 (県庁本館7階)

TEL : 028-623-2242

E-mail : tokeika@pref.tochigi.lg.jp